

5月26日 読売朝刊 ①

自らの責任認め 農相初めて陳謝

口蹄疫問題を巡り、赤松農相は25日の衆院農林水産委員会で、「（殺処分対象となった牛や豚が）14万頭を超える数になっていることについては、大変申し訳ない気持ちでいっぱいです」と述べ、初めて責任を認めて公式に陳謝した。自民党の谷公一議員の質問に答えた。同農相は18日の記者会見では「私がやってきたことは反省するところ、おわびするところはない」と強調し、自らの責任を認めていなかった。

また、25日の衆院本会議では、感染が拡大していた大型連休中に中南米に外遊していたことに絡み、

公明党の石田祝稔議員が「帰国後すぐに宮崎入りせずに、政務の会合に参加していた」と指摘。同農相は事実を認め、「何か月も前から約束だった」と釈明した。